

蓄電池材料評価基盤技術開プロジェクト

平成29年度政府予算案 3.7億円 (平成28年度予算 4.2億円)

事業概要： 先進LIBおよび革新電池の新材料の実用性を評価する、共通的な評価基盤（安全性、長期信頼性、寿命予測等を評価する手法）を開発する。

効果： 本評価基盤を材料メーカーと電池メーカー、自動車メーカー（ユーザー）間で共有することにより、材料探索期間（摺り合わせ時間）の短縮、開発コストの大幅な低減、先進LIBおよび革新電池の早期実用化等を実現。

主な目標： 先進LIBおよび革新電池材料の共通的な評価基盤を確立させる。

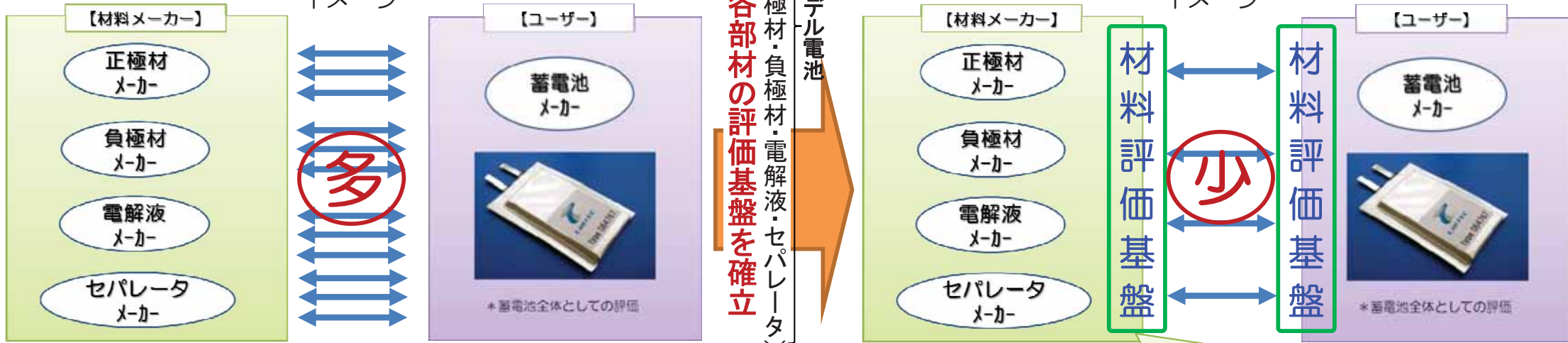
（現在）材料評価基盤なし

目標

（将来）材料評価基盤確立

摺り合わせ回数
イメージ

摺り合わせ回数
イメージ



現状の課題

◆ 摺り合わせ回数が多く、製品開発が長期化

効果

◆ 摺り合わせ回数の低減 → 摺り合わせ期間の短縮 → 新製品開発の加速化 → 早期製品化！！